



3級 第7回

文章の流れ（1）



一般社団法人

日本ビジネス要約協会

Japan Business Digest Association

文章の流れ(1)

■説明

これまで、「主語と述語」の関係、「接続詞」の読み方・使い方を学んでいただきました。今回は、複数の文章の「まとめり」が一体何を表しているのかを読み解くために、「まとめり」である「段落」に着目しましょう。

段落内にある複数の文章。これらの文章の「まとめり」が意味することをどうすれば掴むことができるでしょうか。意味を掴むためには、段落内の文章の流れを読み解く必要があります。今回は、段落内の文章の流れを読み解く手順を説明していきます。

<段落内の文章の流れを読み解くポイント①>

文章の流れは、文章と文章の「結びつき」を見出すことで掴むことができます。しかし、段落内にあるのは、一見バラバラに見える文章——。どうすれば、これらの「結びつき」を見出すことができるでしょうか？

それは、どの文章に書いてある内容が「原因」となって、どういう「結果」になったのか、この因果関係を整理することで見えてきます。つまり、段落内に「原因」になっている文章と、「結果」になっている文章を見つけることができればいいのです。「原因」と「結果」＝「因果関係」を見出すポイントは2つあります。今回はそのうちの1つ目を説明します。

では、簡単な例を見てみましょう。

モンゴルでは、馬に乗って学校に通っている子供もいる。モンゴルでは、馬を飼って生活している人々が多く、子供たちは小さい頃から馬に乗るのがうまい。それに、学校から家までの距離がとても遠い子供もしばしばいるのだ。

この段落内の文章を「原因」と「結果」に分けていきましょう。まず、「結果」から先に押さえた方が文章の流れが読み取りやすくなります。

結果：モンゴルでは、馬に乗って学校に通っている子供もいる。

原因①：モンゴルでは、馬を飼って生活している人々が多く、子供たちは小さい頃から馬に乗るのがうまい。

原因②：学校から家までの距離がとても遠い子供もしばしばいる。

つまり、「モンゴルでは、馬を飼って生活している人々が多く、子供たちは小さい頃から馬に乗るのがうまく」、加えて「学校から家までの距離がとても遠い子供もしばしばいる」ため、「モンゴルでは、馬に乗って学校に通っている子供もいる」のですよね。

では、どうして原因が2つあることが、すぐに分かったのでしょうか？それは、第3回「接続詞（1）」にあるとおり、「**それに**」という「**添加（前の事がらに後の事がらを付け加える）**」の**接続詞があるから**ですね。

いかがでしょうか。文章の「結びつきを見出す」ためには、段落内の「接続詞」に着目すること、その接続詞がどういう役割を果たすのかを理解しておくことが重要です。文章内に接続詞を見つけたら「マル」をつけて着目する習慣をつけると、読解力がどんどんアップしますよ！

ポイントその1：文中の「接続詞」にはマルをつけて、その前後の関係に着目しよう！



■例題と解説

では、例題として以下の文章を確認しましょう。

▼キャンペーンガール蓮舂の往時を知る世代としては、その変貌ぶりにいささかの感慨を抱く。だから政治家としてのさらなる成長に期待をつなぎ、まずは臨時国会での挙措など拝見しよう。蛇足ながら、蓮は花もいいが地中のレンコンにも値打ちがある。起死回生、崖っぷちで再生をめざす党首にその滋味ありや。

(2016/9/16 付日本経済新聞 朝刊)

先ほどの例にならって、この段落内の文章を「原因」と「結果(今回は結論)」に分けていきましょう。分けるときに着目すべきは、「接続詞」でしたね。

文中の接続詞は「だから」です。「だから」とは「順接(前の事がらが原因・理由となり、あとの事がらが結果・結論となる)」の接続詞ですね。これは、分かりやすいです。接続詞の前の文章が「原因」、接続詞の後の文章が「結果」になります。つまり、

接続詞：だから

結果(結論)：政治家としてのさらなる成長に期待をつなぎ、まずは臨時国会での挙措など拝見しよう。

原因：キャンペーンガール蓮舂の往時を知る世代としては、その変貌ぶりにいささかの感慨を抱く。

という構成になっていることが読み取れました。

しかし、これでおしまい・・・?と引っ掛かりを覚えた方、おられるかもしれませんね。そうなのです。これでは、この段落の最後の2つの文章は何の意味もないことになってしまいます。では、最後の2つの文章は何のためにあるのでしょうか?

「蛇足ながら」という言葉は接続詞ではありませんが、物事に付け足して意見を述べたいときに使う言葉です。つまり、筆者は、原因と結果を明確にしながらも、追加で述べたい意見があったのです。

「蓮は花もいいが地中のレンコンにも値打ちがある。起死回生、崖っぷちで再生をめざす党首にその滋味ありや。」

要は、「見た目の華やかさから伺いしれない値打ちが蓮舂党首にあるか(レンコンのように、値打ちがあるかもしれない)」についても筆者は気になっており、その気持ちが「結果(結論)」を補足的に支えているのですね。

このようにして、接続詞にプラスして、接続詞に近い役割をする言葉を見つけることで文章の構成を読み解くことができます。

結果(結論)：政治家としてのさらなる成長に期待をつなぎ、まずは臨時国会での挙措など拝見しよう。

だから

原因：キャンペーンガール蓮舂の往時を知る世代としては、その変貌ぶりにいささかの感慨を抱く。

蛇足ながら

補足的な理由：見た目の華やかさから伺いしれない値打ちが蓮舂党首にあるか(レンコンのように、値打ちがあるかもしれない)

■ 今回の課題

以下の春秋の「接続詞」に着目し、主張を「因果関係」を意識して一文で形成してください。

▼小さな星の小さな光が ささやかな幸せを……。坂本九さんが歌って大ヒットした「見上げてごらん夜の星を」は、もともと同名のミュージカルの主題歌だった。後に坂本さんの主演で映画にもなり、主人公と同じ境遇の夜学生たちに元気を送った、と伝えられる。

▼梅雨の到来で今後は機会も限られそうだが、このところ晴れた夜空を見上げるとすぐに目につく星がある。鮮やかなまでに赤い色をまとった火星だ。坂本さんがやさしく歌い上げた「ささやかな幸せ」には少々そぐわないかもしれないけれど、何とも印象深い星ではある。実際、世界各地の神話や伝説などに登場してきた。

▼科学技術が飛躍した19世紀からは、とりわけSF的な想像力を刺激してきた印象がある。ウェルズが描いてみせた火星人の襲来はさすがに古びたが、話題を呼んだ火星SFは近年もなお少なくない。ひとり取り残された地球人が火星でサバイバルに挑んだり、地球で嫌われ者の昆虫を送り込んで環境を改造しようとしたり。

▼SFの世界ではよくあることだが、想像が現実になる可能性も視野に入ってきた。米国のベンチャー企業スペースXが、2024年をメドに有人宇宙船を火星に飛ばすという。地球に最も近づいたときでさえ月よりおよそ200倍も遠い星への旅。夜空を見上げて抱く感傷もいいけれど、8年後を思うわくわくも悪くない。

(2016/6/7 付日本経済新聞 朝刊)

■前回の課題の解答

<問題再掲>

以下の春秋のなかで、下線①②の接続詞でつながれた二つの文章を一文で形成して筆者が伝えたいことを具体的にしてください。

▼世の中を憂しとやさしと思へども飛び立ちかねつ鳥にしあらねば。山上憶良の歌には今でも胸にずっと染み入るものが多いが、これもそんな佳作の一つだろう。あえて訳せば、この世はつらいところだけ飛び去ることはできない、鳥じゃないから、といったところか。

▼およそ1300年の後に中島みゆきさんが紡ぎだした歌と、深いところで通じているように感じる。～人はむかしむかし鳥だったのかもしれないね～詩人たちにとって鳥のように空を飛ぶことは、かなわない思いや見果てぬ夢の象徴になってきた。だからこそ、自在に天空を舞う姿へのあこがれを美しい言葉で表してきた。①

▼一方で、実際に空を飛ぼうと苦闘した人たちもたくさんいたことを、歴史は伝えている。現代であれば科学者や技術者と呼ばれるような能力と、冒険家と呼ばれるような資質を兼ね備えた先人たち。そして1903年、ライト兄弟によって人が空を行き交う時代は切り開かれた。②もちろん、鳥の優雅さにはほど遠いけれど。

▼ドイツの格安航空会社の旅客機が墜落した事故は、副操縦士が故意に引き起こしたとの見方が強まっている。病気のせいで操縦士の資格を失うことを心配していた、とも伝えられる。飛び続けたい思いが強すぎて青年は闇にのみ込まれたのだろうか。夢は見果てぬ夢だからこそ美しい。そんな詩人の魂があったら、と思う。

(2015/3/31付日本経済新聞 朝刊)

前回の課題は、いかがでしたでしょうか？ 難しかったですか。

では、まず下線①から見ていきましょう。

詩人たちにとって鳥のように空を飛ぶことは、かなわない思いや見果てぬ夢の象徴になってきた。だからこそ、自在に天空を舞う姿へのあこがれを美しい言葉で表してきた。

「だからこそ」という接続詞は、順接の「だから」に「こそ」を付け加えて強調していますね。ですので、この2文を1文にするときも、順接の関係を維持したままで、つなぐようにしましょう。解答例としては、次のようになります。

「詩人たちにとって鳥のように空を飛ぶことは、かなわない思いや見果てぬ夢の象徴に

なってきたからこそ、自在に天空を舞う姿へのあこがれを美しい言葉で表してきた」

次に、下線②を見ていきましょう。

現代であれば科学者や技術者と呼ばれるような能力と、冒険家と呼ばれるような資質を兼ね備えた先人たち。そして 1903 年、ライト兄弟によって人が空を行き交う時代は切り開かれた。

「そして」という接続詞は「添加」の意味だったことを思い出してください。この2文を1文にまとめる場合も、添加の意味合いを持たせながらつないでくださいね。解答例は次の通りです。

「現代であれば科学者や技術者と呼ばれるような能力と、冒険家と呼ばれるような資質を兼ね備えた先人たちがいた後、1903 年、ライト兄弟によって人が空を行き交う時代は切り開かれた」

いかがでしょうか？ 筆者の意図は変わらないまま1つの文につくりかえることができましたでしょうか。